



# 森とも通信

日土小学校  
H30. 5. 14  
NO2

## 木と友だちになろう～日土巡り遠足～

今年の日土巡り遠足は、自然豊かな中当・今出・神明コースでした。今回も、木や森の先生、樹木医の寺崎正人さんに身近にある木や植物の紹介や木の秘密を教えてくださいました。

まず、出発前のオリエンテーションでは、氏名に木や植物の名前が入っている人を紹介してもらい、私たちにとって木や植物はとても身近で、大事な存在だということをお話していただきました。菊、松、樹、森、蓮、葵、いぶき、すみれ、さくら…。たくさんの方が木や植物と関係のある名前がついていることに驚いていました。若葉茂る日土の道を歩きながら、日土の自然を体全体、心全体で感じながら歩くことをめあてに出発しました。「いろいろな形の葉を見つける」「木耳を見つける」の2つの宿題もあり、張り切って歩きました。



今出の医王寺では、寺崎さんが見つけた日土にある木や植物を実物とともに紹介していただきました。スギ、ニレ、エノキ、マサキ、イブキ、トベラ、アセビ、ソテツ、マツ、クヌギ、カシ、イヌマキ、カラタネオガタマ、キンモクセイ、イロハモジミ、イチヨウ、ヤツデ……。



○ヤツデは、一枚一枚の葉が太陽の光を浴びて、光合成ができるように、葉が重ならないように育つんだよ。

○みかんの葉を空にかざすと、小さい穴が星のように見えるから、「葉っぱのプラネタリウム」だね。

○桜の葉の根元には、蟻のための「みつせん」があり、他の虫に葉の光合成をじゃまされないように蟻に守ってもらっているんだよ。

○キクラゲは、人の耳のような形をしているから、「木耳」と書くんだよ。

カラタネオガタマの花はバナナのおいがするよ。



おもしろい形の葉だね。

子供たちも、ハートの形の葉、細長い葉、ぎざぎざの葉などたくさんの種類の葉を見つけました。グループごとに、見つけた葉にオリジナルの名前をつけて楽しみました。ヨモギの葉っぱには、『のりあじのトゲチップス』、クズの葉には『ももたろう』、イチヨウの葉は『カメレオンの手』など、子供たちは想像を膨らませて、楽しい名前を付け、「葉」とすっかり仲良しになりました。